

四国歯学会雑誌

第 1 卷 第 1 号

(昭和 62 年 12 月 25 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 1 (DECEMBER 1987) NUMBER 1

巻頭言:

総説:

エイズ.....佐藤光信..... 1

原著:

頭頸部癌患者尿中の Transforming Growth Factors とその臨床的意義.....	宮上憲司.....	11
歯科矯正装置 Sm-Co (サマリウム-コバルト) ブラケットのう蝕予防効果に関する研究.....	弘田克彦.....	29
人為的歯牙移動時の歯間水平線維 (transseptal fibers) の改造機構に関する研究.....	天真覚.....	43
培養ウシ歯髄細胞のホルモン応答性に関する研究.....	木戸淳一.....	69
頭頸部癌患者血清における IgA 型免疫複合体とインターフェロン活性 の検出とその臨床的意義.....	浦田満.....	87
ヒト唾液腺癌細胞の分化機構.....	東雅之.....	105

M. Sato: AIDS	1
K. Miyakami: Urinary Transforming Growth Factors in Head and Neck Cancer and their Clinical Significance	11
K. Hirota: The mechanism of inhibitory effects of Sm-Co (Samarium-Cobalt) bracket on the induction of dental caries	29
S. Tenshin: An attempt of experiment to clarify the mechanisms of the transseptal fibers induced by mechanical tooth movement	43
J. Kido: Effects of Hormones on GAG Synthesis and Alkaline Phosphatase Activity in Cultured Bovine Dental Pulp Cells.	69
M. Urata: Detection of Immunoglobulin A Circulating Immune Complexes and Interferon Activity in the Sera of Patients with Squamous Cell Head and Neck Cancer and the Clinical Significance	87
M. Azuma: Mechanism of Differentiation of a Human Salivary Gland Adenocarcinoma Cell Line.	105

四 国 歯 学 会

四国歯誌

Shikoku Society of Dental Research

Shikoku
Dent. Res.

四国歯学会会務報告

I 第6回総会報告

第6回総会が昭和62年7月11日（土）13:00より開催され、開会の辞、会長挨拶に続いて高木知道理事が議長に選出され、会務報告並びに議事が審議された。

1. 報告事項

1) 庶務報告

○ 四国歯学会登録会員数

(昭和62年4月1日現在)

会員総数	444
内訳	
名誉会員	1
一般会員	412
賛助会員	31

2) 会計報告および監査報告

○ 昭和61年度会計報告が行われ、監査の結果、適正であると報告された（次項に別掲）。

3) 学術報告

○ 第9回例会の開催並びに62年度夏季講演会の予定について報告がなされた。

4) 広報報告

○ 昭和61年10月29日の臨時総会における会則改正で、会報の編集は削除し、機関誌として四国歯学会雑誌を発行することになったので、会務報告は四国歯学会雑誌に掲載するむね報告がなされた。

2 議事

昭和62年度予算案の承認を求める件

○ 会計担当理事より、昭和62年度予算案（別掲）が提示され、賛成多数で承認された。

II 会計報告および予算案

1 昭和61年度会計報告

収入

	決算高	予算高	増減
繰越金	3,483,161	3,483,161	0
入会金	42,000	40,000	+2,000
61年度会費	448,000	650,000	-202,000
61年度賛助会費	350,000	500,000	-150,000
利息	2,356	70,000	-67,644
計	4,325,517	4,743,161	-417,644

支出

	決算高	予算高	増減
会報発刊費	72,000	100,000	-28,000
学会開催費	5,400	200,000	-194,600
事務費	24,160	50,000	-25,840
通信費	94,650	100,000	-5,350
備品費	0	200,000	-200,000
雑費	2,520	200,000	-197,480
予備費	4,126,787	3,893,161	+233,626
計	4,325,517	4,743,161	-417,644

2 昭和62年度予算案

収入

前年度よりの繰越金	4,126,787
入会金	25,000
62年度会費	1,120,000
賛助会費	350,000
会誌掲載料	700,000
雑収入	100,000

計 6,421,787

支出

学会開催費	200,000
会誌発刊費	1,300,000
会誌送料	300,000
通信費	150,000
備品費	200,000
事務費	50,000
雑費	100,000
予備費	4,121,787

計 6,421,787

III 第8回例会、第9回例会、62年夏季講演会報告

○ 第8回例会は、昭和61年12月13日開催され、浅岡憲三歯科理工学講座助教授による「欧米の歯科医科材料研究の現状」と題する特別講演並びに一般演題6題が講演された。

○ 第9回例会は、昭和62年7月11日、第6回総会に続き開催され、山口和憲歯科矯正学講座助教授による「シカゴイリノイ大学に於ける矯正学事情＝抜歯と非抜歯＝」と題する特別講演並びに一般演題9題が講演された。

○ 昭和62年夏季講演会は8月30日（日）徳島県歯

科医師会館において開催され、歯科保存学第2講座若野洋一教授、永田俊彦講師による「歯周病の計画診療の実態」と題した講演が行われた。

IV 名誉会員について

竹田義朗名誉教授が会則第5条の規定により理事会において推薦、了承され、四国歯学会名誉会員となられた。

V 運営委員の一部異動について

○ 会計担当が佃評議員から吉田幸子評議員に、広報担当が林評議員から石川康子評議員に変更された。

第8回四国歯学会例会 御案内

下記の要領で例会を開催いたしますのでご案内いたします。

プログラム

日時 昭和61年12月13日(土)(13:00~)
会場 徳島大学歯学部大講義室(4階)

特別講演 (13:00~13:30)

「欧米の歯科医科材料研究の現状」

徳島大学歯学部歯科理工学講座

浅岡憲三 助教授

一般講演 (13:40~)

1. 開業2年間の統計的観察

徳島大学歯学部麻酔診療室

早雲 講二

2. 局麻薬中の bisulfite 過敏症

徳島大学歯学部麻酔診療室

○中條 信義, 秋山 良文,

白石 亨, 富岡 重正,

加藤みゆき

3. 下顎前突症患者の麻酔中ホルモン変動

徳島大学歯学部麻酔診療室

○富岡 重正, 秋山 良文,

白石 亨, 加藤みゆき,

中條 信義

4. 頭頸部癌における Natural killer および lymphokine-activated killer 細胞の動態

徳島大学歯学部口腔外科学第2講座

同 中央検査室*

○山下 卓雄, 浦田 満,

板東 高志, 加地 亮詞,

吉田 秀夫, 梁川 哲雄,

由良 義明, 林 良夫*,

佐藤 光信

5. 透視変換を用いた歯列、顎骨、顎関節形態の三次元計測法開発の試み

徳島大学歯学部歯科放射線学講座

○岩崎 裕一, 細木 秀彦,

増山 博之, 上村修三郎

6. 小児の歯科診療時の協力性に関する研究

徳島大学歯学部小児歯科学講座

○原田 桂子, 中川 弘,

岡本 多恵, 有田 憲司,

西野 瑞穂

第9回四国歯学会例会 御案内

下記の要領で例会を開催いたしたくご案内申し上げます。

プログラム

日時 昭和62年7月11日(土)(13:30~16:00)
会場 徳島大学歯学部大講義室(4階)

特別講演 (13:30~14:00)

13:30

「シカゴイリノイ大学に於ける矯正学事情
=技術と非技術=
徳島大学歯学部歯科矯正学講座
山口和憲 助教授

一般講演 (14:00~16:00)

14:00

1. ストレートワイヤーテクニックによる治験例 (Indirect bonding 法を応用して)

徳島大学歯学部歯科矯正学講座

○多田 恒, 六車 豊,
矢野 和巳, 曾 鴻哲,
澤田 義勝, 天真 覚,
弘田 克彦, 勝瀬昭三郎,
山口 和憲, 河田 照茂

2. St. cricetus と St. sobrinus の共通多糖抗原-単 クローン抗体による解析-

徳島大学歯学部口腔細菌学講座
高知学園短期大学保健科*

○加藤 裕久, 太田 房雄,
長宗 秀明, 秋山 保之,
里見 康彦, 森本 泰自*,
福井 公明

14:25

3. E群連鎖球菌の多糖抗原性を持つ連鎖球菌の不均 一性

徳島大学歯学部口腔細菌学講座

○長宗 秀明, 太田 房雄,
加藤 裕久, 植垣 健二,
小野美和子, 安岡 雅仁,
福井 公明

4. 溶連菌感染防御免疫に及ぼす食餌蛋白質量の影響 徳島大学歯学部口腔細菌学講座 徳島大学医学部栄養学科栄養生理学講座* 甲子園大学**

○太田 房雄, 山本 茂*,
秋山深雪*, 竹内佐代子*,
岸 恭一*, 福井 公明,
井上 五郎**

14:50

5. 骨誘導能を有する生体材料の開発-骨誘導因子移 植実験-

徳島大学歯学部補綴学第一講座
徳島大学歯学部口腔解剖第二講座*

○岡本 康生, 堀坂 寧介,
松本 直之, 山下 菊治*,
高木 知道*

6. 頭頸部扁平上皮癌における Natural Killer 細胞集 団の表現形質と機能から見た特性

徳島大学歯学部口腔外科第二講座

○山下 卓雄, 吉田 秀夫,
加地 亮詞, 梁川 哲雄,
浦田 満, 佐藤 光信

15:15

7. ヒト口腔扁平上皮癌より分離樹立した脂肪滴保有 培養細胞の性状

徳島大学歯学部口腔外科第二講座

○宮本 和典, 梁川 哲雄,
坂東 高志, 永峰 伸一,
吉田 秀夫, 佐藤 光信

8. 下顎顎義歯について

徳島大学歯学部歯科補綴学第二講座

○久保 吉廣, 中野 雅徳,
坂東 永一

15:40

9. ハイドロキシアパタイト顆粒の歯周治療への応用 徳島大学歯学部歯科保存学第二講座

○篠原 啓之, 笠原 信治,
幸田 直彦, 浜崎 章弘,
永田 俊彦, 若野 洋一